

議会報告会報告書

| | | | |
|------------------|--|--------------|--|
| 開催日時 | 平成31年4月19日（金）午後7時00分～8時45分 | | |
| 開催場所 | 小野江コミュニティセンター | | |
| 出席議員 | 大平 勇、松本 一孝、市野 幸男、楠谷 さゆり、西口 真理 海住 恒幸、中島 清晴 | | |
| | 司会進行者 | 海住 恒幸 | |
| | 報告者 | 西口 真理、楠谷 さゆり | |
| | 記録者 | 市野 幸男 | |
| 参加人数 | 11名 | | |
| 主な質疑応答 意見・要望等 | 別紙のとおり。 | | |

松阪市議会議長 中 島 清 晴 様

平成31年4月22日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第2班

代表者 大平 勇

【第1部の主な質疑応答・意見等】

問 県営水道受水費 12 億 8 千万円が、水道料金を下げられない足かせとなって松阪市は水道料金が低い。県が負担できないのか、また値下げはできないのか。

答 5 年ごとの見直しで 29 年度から複数回、県に要望しているが水量 61,000 m³、価格については、関係市町の協定があり一朝一夕では難しいが、交渉は続けている。

問 市民病院の合併の話はどうか。病院は 2 つでいいのではないか。以前の「健康でいきいきしたまちづくり」として考えるなら、本来健康であればベッド数を減らしてもよいと思うが、予算の考え方はどうか。

答 市民病院のあり方検討委員会では 2 病院の連携がないと経営が成り立たなくなるという議論がなされた。しかしながら最終的には報告書で、合併を前提としないこれからさらに検討が必要であるという方向性が示された。その後三重県の方向性を精査し直すという事で、最近見直されたが、現状どうすべきか結論は出ていない。

問 鈴鹿市は市民病院を持っておらず、委託だが、松阪市と比べ予算として違いは。

答 松阪市の市民病院は赤字覚悟の医療を提供していく使命があり、繰出金を使用して運営しているのが現状である。

意見 市民病院のあり方検討委員会に傍聴に行ったが、市民が発言できる機会がない。委員構成の中に議員、職員も入ってない。広い分野で考えるべきだ。

問 人口減少が進んでいく中で市の予算はいつまで増え続けるのか。

答 増え続けているわけではない。今回 76 億ぐらい増えているようになっているが繰上げ償還していくための予算要因が大きいので、事業費が増えているわけではない。

問 本会議で質問に関係ない部長クラスの在席は必要か。県では今後考えることで動き出しているが、本来の仕事をやるべきで経費の無駄ではないか、質問のあるときだけ在席してはどうか。

答 県の動きは把握していないが、質問はどここの部署にでてくるかわからない、本会議の時だけなのでやむを得ないと考える。

問 小野江公民館建設予算 1,853 万円となっているがどのような公民館ができるのか。いつ完成か。

答 1,853 万円は公民館の設計に係る予算で、来年度建設で令和 3 年度 4 月オープン予定となる。

問 小野江小学校区放課後児童クラブ施設建設 9,099 万円はどんなものが建つのか。

答 現状の建物が手狭になり、耐震もないことから以前から要望があったものを建設する。平屋の木造建築 165 平方メートルの建物、現状設計段階である。

第 2 部【住みよいまちづくりについての主な質疑・意見】

問 松阪市から自衛隊に対して、18 歳から 33 歳までの自衛隊適齢者名簿が本人や家族の同意なく個人情報が出てきているが、いつごろから出されているのか、何人分なのか、松阪市としての今後の見解はどうか。

答 昨年 12 月に 20,393 人分のデータが提出されている。いつ頃から提出されているかはハッキリわかっていない。今、結論を出すことが出来ないが個人情報の取り扱いに関わる事なので慎重であるべきだと認識している。執行部にたいして慎重な対応を求めらる。

問 区費のうち 50%を防犯灯に使っている。市が負担してくれないのか。

答 市の補助金があるので自治会より申請していただき、付ける場所は優先順位を考えて上手く活用してほしい。

問 学校のエアコンはひとつの学校にいくつぐらい設置されるのか。

答 全教室に入る予定である。

問 避難タワーは怎么样了。

答 五主、松名瀬に建設するための設計段階に入り、建設が決まっている。

問 学校トイレ洋式化改修は進んでいるのか。

答 災害時の避難所であることから昨年からの工事に入り今年度完成予定です。

問 中川駅からいろいろ回れるところがあるが、観光の一環として他市にはたくさんあるレンタルサイクル事業はできないか。

答 需要がどれだけあるのか、事業として成り立つのか、まちづくり協議会連携のなかでの議論も含め慎重に考えていきたい。

問 避難タワーが普段使える施設に併用できるものがないものか。

答 地域住民としては望むところではあるが、補助金を使用して建設する場合、避難タワーとしての規定の縛りがあり、難しい。あくまで一時避難タワーの位置づけである。

問 横断歩道の白線、中央線が消えていて見えない。三重県は横断歩道で車が止まらないワースト 3 だが恥ずかしい、白線整備をお願いしたい。

答 松阪市としては白線に関して緊急整備事業 1,000 万円の予算計上しているが、松阪市全体も広く優先順位を考えながら行っているのご理解願いたい。

意見 松浦武四郎道路の命名をしたらどうか。

意見 エンディングノートを冷蔵庫に保管したらどうかという行政の指導があったがエンディングノートと一緒に貴重品も入れてしまうため、窃盗に遭いやすい。問題となるので、言わないほうが良い。